

令和4年10月5日

JSの災害支援に関して、村上市長からお礼状をいただきました！

去る令和4年8月3日からの大雨による災害を受け、日本下水道事業団関東・北陸総合事務所では発災翌日から新潟県内など被災施設に対する調査を行いました。

そのうち災害査定を受けることとなった村上市長より、JSによる迅速な調査や復旧に向けての助言に対し、別紙のとおりお礼状をいただきました。

8月3日の大雨による被災では、JSが災害支援を行って災害査定を受ける施設は2施設となりましたが、現地調査はこれを含めて3箇所の施設において実施しています。この他災害復旧支援だけでなく、雨水ポンプ施設が一部被災したことによる運転管理の提案も行っています。

村上市とは災害支援協定を締結しており、今回の調査はこれに基づいたものですが、大きな浸水被害を受けた関川村など、災害支援協定を締結している自治体以外の施設の情報収集や状況確認も積極的に行っています。

JSでは、地震や大雨などの災害支援に力を入れています。そのプッシュ型の積極的な情報収集や調査は、被災直後や休日、夜間の作業となることもあります。職員は強い使命感をもって業務にあたっています。

今回のお礼状は、この一連の行動に対しいただいたものであると考えています。

今後は被災した施設の復旧にむけて、災害査定、復旧工事を行っていきませんが、JSの持つこれまでのノウハウを結集し、早期復旧を目指します。



村上市羽ヶ榎中継ポンプ場
沈砂機械室の浸水状況 (8/3)



村上市荒川浄化センター
浸水状況の調査 (8/4)

謹啓

令和4年8月3日からの大雨による災害において、被災調査業務等に職員を派遣していただき、ご厚情賜りましたことを心より厚く御礼申し上げます。

今回の災害では、線状降水帯による激しい雨が降り続き、これまでに経験したことの無い記録的な大雨となりました。市内全域で避難指示を発令する事態となり、特に一級河川荒川流域においては河川の氾濫や土砂災害の危険性が極めて高くなったことから、最大警戒レベルの「緊急安全確保」を発令し、直ちに身の安全を確保する行動を呼びかけることとなりました。

神林地域小岩内地区では、大規模な土石流が発生し集落のいたるところに流木や土砂が押し寄せる甚大な被害となったほか、JR坂町駅周辺の市街地では住宅が1メートル以上水に浸かるなど、広範囲で床上・床下浸水が発生し、一時孤立する状況もありましたが、自衛隊・警察並びに消防団の迅速な救援活動により、一人の人命も失うことなく市民の避難を確保することができました。

8月23日から罹災証明の交付が行われ、被災された市民の方々の生活再建に向けた新たな一歩がスタートいたしました。

今後は、被災前の日常を取り戻すため、本市においても市民一丸となり復旧・復興に取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。

皆様におかれましては、今後益々のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますとともに、略儀ながら書中をもちまして心よりお礼申し上げます。

敬白

令和4年9月15日

地方共同法人 日本下水道事業団 御中

村上市長

高橋邦芳

